

資料2-3

関東地方整備局からの情報提供

カーボンニュートラルポート形成に向けた取組

2022年3月

国土交通省 関東地方整備局

カーボンニュートラルポート(CNP)実現に向けた各港の取組状況

- 全国18港湾、2地域においてCNP形成に向けた検討が進行中(令和4年3月時点)。
- 国内では、低炭素・脱炭素型燃料を活用した船舶や荷役機械のほか、豪州から液化水素を輸入する実証事業等が進められている。
- 海外では、LA・LB港等において停泊中船舶への陸上電力供給、ロッテルダム港において水素パイプラインプロジェクトが進められている。

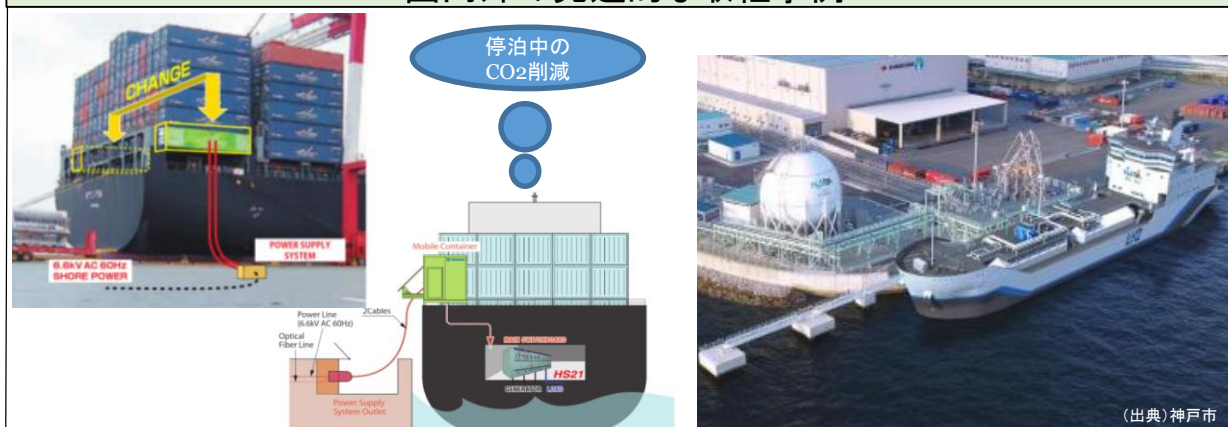
全国のCNPの検討状況

全国18港湾+2地域



※令和4年3月10日時点

国内外の先進的な取組事例



(出典) TERAOKI 陸上電力供給システムカタログ
LA・LB港等における船舶への陸上電力供給

神戸港における水素輸入拠点実証 (出典) 神戸市



(出典) 三菱重工

LNG燃料船(フェリー)
・2023年大阪-別府航路就航予定
・2025年竣工予定(大洗-苦小牧航路)

(出典) 東京汽船・e5ラボ

EV船(タグボート)



ロッテルダム港における水素パイプライン将来イメージ (出典) ロッテルダム港当局

CNP実現に向けた国土交通省港湾局の支援策

- 最新の国の施策や新たな技術革新の情報、国内外の先進事例のノウハウ(洋上風力事例含む)を共有し、茨城港／鹿島港でのCNP形成計画の具体化・高度化に貢献。
- CNP形成計画の策定支援や洋上風力基地港湾整備など、カーボンニュートラルポート(CNP)の支援メニューを実施するとともに、茨城港／鹿島港をはじめ各港のニーズを踏まえ、新たな支援策を検討する。

国土交通省港湾局の支援メニュー(令和3年度補正／令和4年度当初)

CNP形成計画の策定支援

【概要】

CNP形成の取組を加速させるため、当該計画策定及び変更、港湾計画への反映に係る支援制度

【対象港湾】

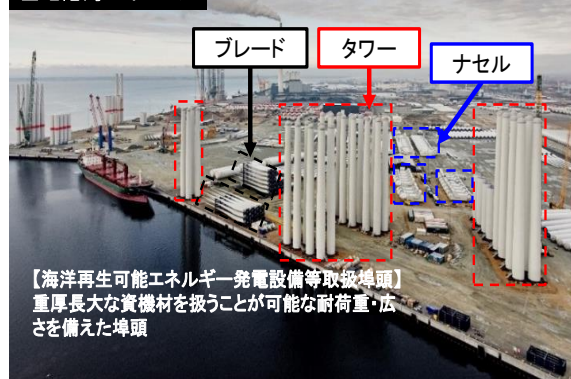
国際戦略港湾、国際拠点港湾及び重要港湾を基本とする。地方港湾においても策定を推奨。

【策定主体】

港湾管理者。関係事業者等が参画する協議会の設置が望ましい。

洋上風力発電に係る基地港湾の整備

基地港湾のイメージ



港湾における脱炭素化促進事業(環境省連携事業) (再生電源を用いた港湾施設設備支援)

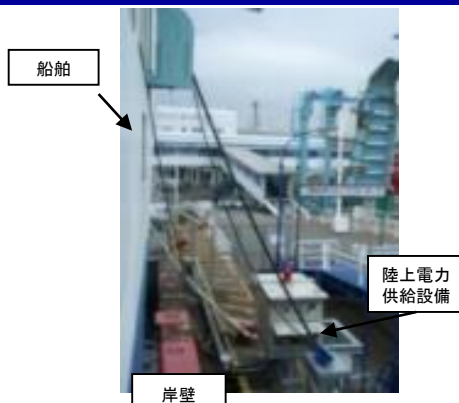


ハイブリッド型
トランスファークレーン



ハイブリッド型ストラドルキャリア

船舶への陸上電力供給の推進



LNGバンカリング拠点の形成



LNGバンカリング



自立型電源
(蓄電池設備含む)



電力供給設備